



命とくらしを守る市政を求め 新年度予算案などに反対

新議会議員が選挙によって選ばれ、初の議会が開かれました。市長の施政方針や予算案などが提案され、議論が行われました。日本共産党市議団は、国民のいのちとくらしを守ることが、今日の政治の中心課題であり、市のいっそうの努力を求め、18議案に賛成し、予算など8議案に反対しました。予算などの内容は「広報やとみ」4月号で、議案への議員の態度は「議会だより」でお読みください。

党市議団は、合併後のでも軽くするために、市の予算は収入を必要以上でなく見積もり「財源不足」と「行政改革」を強調することで、住民サービスを抑制してしまっている。国や県が行う景気対策などの支援事業は、個人では数百万円、数千万円の負担ができる人と大企業が中心です。「その日のくらしに困っている人々や、事業主の給料をゼロにして、従業員のためにと頑張っている人々への支援こそ政治が強い、国保税を少し減らすこと」を求め、新年度予算案は、その役割が充分でない」と指摘し、反対しました。

市政とくらしのご相談はお気軽に
私たちのもとへお寄せください。



市会議員 三宮 十五郎

TEL: 67-2252

FAX: 67-5011



市会議員 なす 英二

TEL:090-1786-8514

nasue-j@clovernet.ne

前市議 安井 光子 TEL:52-0122

元市議 原沢 久志 TEL:52-1650

市民に正確な 情報の提供を

市は合併後、弥富中、弥生保育所、第2桜小(仮称)などの予算をくむ時には、100億円をこえるような特別な事業を、積立金のとりくみずしで行う予定でした。しかし、実際には、合併の時、34億円程あった積立金はとりくみずさず、

増やしています。

これは、他の市町が大幅な税収減で苦しんでいる中で、弥富市の税収が安定しているからです。子育て支援の充実によって、働き盛り世代の定住を促進し、個人市民税の減収を抑えていること。市街化農地が蟹江町の2倍、旧佐屋町の4倍近くあり、高い税金に苦しむ農家の皆さんが、住宅用地を提供したり、賃貸マンションを作るなど、住宅建設がすすんだこと。これに臨海部の企業立地が重なって、固定資産税が増えたためです。

党市議団は「これは市民と職員の努力の結果であり、しっかりと予算に反映させ、市民に還元するべきだ」と主張しました。

行きすぎた 大企業支援

現在、西部臨海部に誘致した大企業に5年間で4年分の固定資産税相当額を「企業立地指定企業交付奨励金」として交付。平成18年度から29年度までで、19社に21億5000万円が予定されています。これは、そ

～新年度予算 知っ得 みなさんのくらしの情報～

- ◆ **本年度も保育料はすえおきになりました。(16年間)**
ただし、延長保育料は1カ月1000円の負担になりました。
- ◆ **介護保険料**
全体に値上げになりましたが、所得の低い人の値上げ幅が縮小されました。市長からも国の制度の大幅な改善を求めていくことが約束されました。市では生活保護基準の1.1倍以下の収入の方は保険料を1/2にする減額制度があります。介護高齢課や日本共産党議員にご相談ください。
- ◆ **配食サービスが毎日利用できるようになりました。**
1人暮らしの高齢者や障害者、高齢者だけなどの世帯が対象。普通食の他、病人用の食事配達可能になりました。介護高齢課に申し出てください。
- ◆ **弥生小・桜小に保健室用の温水シャワーが付けられます。**
小中学校、保育所の窓ガラスに飛散防止フィルムなども張られます。
- ◆ **小中学校の給食費・文具・入学や修学旅行費用などの補助金(就学援助)が支給されます。**
海部地区で一番使いやすい基準になっています。家族の収入による基準がありますので、市の教育課や日本共産党議員にご相談ください。
- ◆ **公民館ホールの音響設備などが改善されます。**

健康と環境 を犠牲に

3月議会で臨海部に立地している企業敷地の緑地面積と、環境改善のための施設用地面積を25%から5%以下

れ以外の全中小企業への補助負担金が毎年、3000万円程度です。から、その71年分の金額にあたりません。三宮議員は採決前の討論で「鍋田地域でも光化学スモッグの原因となるオキシダントや、公害ぜんそくの原因となる浮遊粒子状物質が環境基準を超えているのに、市民の健康を犠牲にし、地球温暖化防止という国際的な課題にも逆行するのは許されな

い」と厳しく批判しましたが、日本共産党以外の議員は全員賛成で可決されました。その一方、「行政改革」の名目で「国民健康保険税」の値上げを抑えるための市の負担を3000万円削減しました。「保育料の値上げ」も検討課題と言っております。

議会ダイジェスト



安心して子育てできる環境を

【なす】現在、日本では、若い世代を中心に不安定雇用や低賃金が広がり、生活のために幼い子供を預け、働かざるを得ない状況が増えている。しかも、この雇用状況下では、産休後、育児休暇を取ろうとすると解雇・辞職をうながされることもあり、再就職も困難です。働くお父さん・お母さんを支援し、少子化を軽減するために、0歳児(産休明け)保育、小学4年生以上も預けられる児童クラブなど、子育て支援を拡充すべきでは。

不妊治療は多額の治療費と低い成功率のため、一般的な家庭では負担が大きく、治療が受けられずに、産みたくても産めない状況。少子化の中、弥富市においても、子供は大きな財産になる。そのため、不妊治療の補助拡充”を行ってはどうか。



【産休明け保育回答】

①小さな子供は親がみるのが当たり前。②幼い子供を他人(保育士)に預けるなんて不安。③希望者が少ない。預けたいというなら愛西市などの保育所を紹介する。

【児童クラブ回答】

④児童クラブ4年生以上は「自立」の観点から実施は考えていない。

【不妊治療回答】

⑤不妊治療に、費用対効果がどれほどあるのか。

あれ？福祉って、採算の問題？

一般質問で「市民に役に立つ所」として、福祉サービスの充実を求める、答弁で目立つのは、

道路の穴ぼこ危険だやむいっとなんか56?

先日「十四山保育所近くの道路に穴ぼこがある」と市民のみなさんから情報提供があり、現地を確認し、市役所(土木課)に申請しました。すると、その日のうちに道路の補修が行われていました。この他にも、弥富中学校の西側、大藤団地の西側の道路も直してもらいました。みなさん、「危険だなあ」と感じる場所がありましたら、市役所に言ってみましょう。誰が言ってもすぐに対応してくれます。

市にとっては、危険箇所を知らせてくれる情報はありがたいのです。みなさんが危険と思っているところは、誰もが危険と感ずることが多いので、一緒に、安心・安全な町をつくっていきましょう。

どうなる!?! 十四山中学校 住民の意思を尊重して!

① 経過について

今年4月から「武道」が中学校の必修科目になるため、十四山中に「武道場」の建設が決まり、H23年度には「設計委託料」も予算化されました。

しかし、3・11の東日本大震災のこともあり、共産党市議団は、昨年6月議会で「避難所、の機能もあわせ持つ「武道場」にするように要望。市は「検討する」と答弁しましたが、今年3月の議員全員協議会で市長は「設計委託料を凍結する」ことを明らかにしました。

② 市教育委員会の見解(3月5日に説明を求める)

- 1、十四山中の老朽化した体育館を改築し、武道場と避難所を併せ持つ建物を考えたが、およそ4～5億円かかる。
- 2、十四山中は生徒数が少ない(今年度183名、10年後には130名程度)ため、音楽・美術などは正規職員の配置ができず、クラブも限られ、子供の環境も考えるとどうか。
- 3、存続か、統廃合か、学区の再編なども含め、保護者や地域住民などで議論をして決めていきたい。

③ 市長に申し入れ(2月29日に党市委員会で)

- 1、十四山中の統廃合にもつながる「計画案」を公表すること。
- 2、市民説明会・アンケート調査などを行うこと。
- 3、保護者や地域住民の意思を尊重し、対処すること。

アサノ

市長は栄南学区の次に十四山地区に避難所を作ると言っていたけれど、中学校の統廃合との引きかえには許せません。

「受益者負担」「自立自助」もないから行政の力を必要としているのに、それをバツサリと切り捨てる「口実」に使うことは許されません。

「費用対効果」とは、「そのサービスが、採算とれるかどうか。市にとって利益があるかどうか」です。しかし、福祉の分野において、費用対効果が成り立つのでしょうか。福祉は、お金も掛け、利益のための手段ではありません。採算今この時代、国の政治がひどく、雇用や経済、福祉はガタガタの状態です。そのため、憲法25条に保障された「健康で文化的な最低限度の生活」の権利が、ないがしろにされています。

弥富市が、国に追いついていくのか、それとも市民の立場にたつて、「命とくらし」を守るのが、その姿勢が問われている時ではないでしょうか。

「自立自助」は「自分自身で、何でも役所に頼るな」ということ。自分ではどうしようもないから行政の力を必要としているのに、それをバツサリと切り捨てる「口実」に使うことは許されません。

「費用対効果」とは「そのサービスが、採算とれるかどうか。市にとって利益があるかどうか」です。しかし、福祉の分野において、費用対効果が成り立つのでしょうか。福祉は、お金も掛け、利益のための手段ではありません。採算今この時代、国の政治がひどく、雇用や経済、福祉はガタガタの状態です。そのため、憲法25条に保障された「健康で文化的な最低限度の生活」の権利が、ないがしろにされています。

弥富市が、国に追いついていくのか、それとも市民の立場にたつて、「命とくらし」を守るのが、その姿勢が問われている時ではないでしょうか。

